

# 第50回 日本フィル 夏休みコンサート 2024



好評  
発売中!

【料金】全席指定・消費税込

S席 子供 3,400円/大人 5,600円  
A席 子供 2,700円/大人 4,600円  
B席 子供 2,000円/大人 3,600円

※ 子供 = 4歳~高校生

※ 4歳未満は入場できません。

チケットはお一人一枚ご用意ください。

★演奏時間は休憩を含めて約1時間50分です。

## ～プログラム～

### 第1部

- ♪信長貴富: 50周年オリジナルファンファーレ
- ♪アンダーソン: 舞踏会の美女
- ♪エルガー: 愛のあいさつ
- ♪ホルスト: 《惑星》より木星  
(夏休みコンサート版)

### 第2部

- バレエ (7/19~31) ——
- ♪チャイコフスキー: バレエ《くるみ割り人形》  
(夏休みコンサート2024版)
- わくわくピアノ (8/2~6) ——
- ♪バッハ: メヌエット
- ♪ショパン: 幻想即興曲
- ♪ドビュッシー: 《ゴリウォーグのケーキウォーク》  
「子供の領分」より
- ♪ガーシュウィン: ラブソディ・イン・ブルー

### 第3部

- ♪さんぽ ♪ふるさと ♪勇気100%

## 第2部 バレエ



- 指揮: 梅田俊明 / お話とうた: 江原陽子  
バレエ: スターダンサーズ・バレエ団 / バレエ演出・振付: 鈴木稔
- 7月19日 金 14:00 相模女子大学グリーンホール
  - 7月20日 土 13:00 & 17:00 東京芸術劇場
  - 7月21日 日 13:00 & 16:30 サントリーホール
  - 7月25日 木 14:00 松戸・森のホール 21
  - 7月27日 土 13:00 & 16:30 ソニックシティ (大宮)
  - 7月28日 日 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール
  - 7月30日 火 14:00 ウェスタ川越大ホール
  - 7月31日 水 14:00 江戸川区総合文化センター

♪特設ページ♪



## 第2部 ピアノ



- 指揮: 永峰大輔 / お話とうた: 江原陽子 / ピアノ: 上原彩子
- 8月 2日 金 13:00 & 16:30 サントリーホール
  - 8月 3日 土 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール
  - 8月 6日 火 13:00 & 17:00 東京芸術劇場

【お申し込み】日本フィル・サービスセンター

☎ 03-5378-5911 (平日 10時~17時)

eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



日本フィルハーモニー交響楽団  
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第396回

# 横浜定期演奏会

396th YOKOHAMA Subscription Concert

2024年4月27日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm April 27th(Sat.), 2024, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: 神奈川新聞社、TBS

協力: 横浜みなとみらいホール

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。  
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA  
——創立指揮者 渡邊 暁雄——



## 弾き振りを味わう —横山幸雄、ショパンを通じて次のステージへ

今や日本のピアノ界を牽引する存在と言っても過言ではない横山幸雄。ショパンの作品全曲演奏会など驚嘆すべき偉業を次々となし得ている彼が、今回はピアノとオーケストラの「弾き振り」を披露します。日本フィルとは40年近くの共演歴を誇る仲だからこそ実現するスペシャルなコンサートです。ライフワークであるショパンの作品の中から今回は第2番のコンチェルトと演奏機会があまりない珍しい2作品を取り上げます。「マエストロ横山」の新たな側面を皆様に披露したいと思います。

## Programs

フレデリック・ショパン Frédéric CHOPIN

《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」の  
主題による変奏曲 変ロ長調 op.2 (約15分)

Variations sur 'La ci darem la mano' du "Don Juan" in B-flat major, op.2

アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ  
変ホ長調 op.22 (約15分)

Grande polonaise brillante précédée d'un andante spianato E-flat major, op.22

—— 休憩 (15分) Intermission ——

## ピアノ協奏曲第2番 へ短調 op.21 (約32分)

Concerto for Piano and Orchestra No.2 in F-minor, op.21

指揮・ピアノ: 横山幸雄

Conductor and Piano: YOKOYAMA Yukio

コンサートマスター: 木野雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: 門脇大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

© ZIGEN



## 指揮・ピアノ: 横山幸雄

第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、本格的な演奏活動を始めた。それ以来数々の賞を受賞し、クラシック界のトップアーティストとして常に注目を集めている。2010年ショパン生誕200年を記念して行われた14時間に及ぶショパンピアノ独奏曲全曲演奏会「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、翌年には遺作を含む全独奏曲演奏会で自らのギネス記録を更新。2019年の第10回記念

公演では、ショパンが生産で作曲した240曲の全ての作品(独奏曲、協奏曲、声楽曲、室内楽曲)を3日間で演奏するという前人未踏のプロジェクトを大成功させ、その記録をDVDとしてリリース。また、2013年よりスタートした横山幸雄のもうひとつのライフワークともいえるシリーズ「ベートーヴェン・プラス」や、「4大ピアノ協奏曲」演奏会などに加え、ベートーヴェン生誕250周年にあたる2020年には「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全32曲連続演奏会」を行ない、2日間でソナタ全曲を演奏する偉業を成し遂げ、その模様が全て収録されたDVDを発表。最新CDは昨年サントリーホールでのデビュー30周年記念公演のライブ録音「横山幸雄 ショパンピアノ協奏曲第1番&第2番他」(ソニー・ミュージック・レーベルズ)。積極的な演奏活動以外に教育者としても数々の実績を残している。また、東京と京都にレストランをオープンし、音楽と旬の食をテーマに新しい音楽の楽しみ方を提供。近年では自ら主宰するピアンカーラサロンでの様々な企画や、ライブ配信「マイハートピアノライブ」を毎月行なうなど、音楽プロデューサーとしても活躍。数々の音楽大学で客員教授として教鞭を取り、また故中村絃子女史の遺志を引き継ぎ日本パデレフスキ協会会長を務めている。オフィシャルサイト <https://yokoyamayukio-official.bitfan.id/>



## 今日のコンサートの聴きどころは?

ヨーロッパ文化史研究家小宮正安さんの  
面白解説をお楽しみください!

16時20分  
より  
大ホール内  
にて♪



小宮正安(こみや まさやす) ●ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家。横浜国立大学(大学院都市イノベーション学府・都市科学部)教授。著書に『コンスタンツェ・モーツァルト(悪妻)伝説の虚実』(講談社選書メチエ)、『名曲誕生 時代が生んだクラシック音楽』(山川出版社)、『音楽史 影の仕掛人』、『オーケストラの文明史 ヨーロッパ3000年の夢』(春秋社)、『モーツァルトを「造った」男 ケッヘルと同時代のウィーン』(講談社現代新書)、『愉悦の蒐集 ヴンダーカンマーの謎』(集英社新書)など多数。『ウィーンフィル・ニューイヤーコンサート』でのコメンテーターをはじめテレビやラジオへの出演、『東京・春・音楽祭』でのナビゲーターなど、幅広い分野で活躍している。



## フレデリック・ショパン (1810-1849) Frédéric CHOPIN

ショパンが残した独奏ピアノとオーケストラのための協奏的作品は全部で6曲。今回は、ショパンのスペシャリスト・横山幸雄と2年に渡り、この6曲を横山による弾き振りで披露する第1回目となる(2回目は来年4月の横浜定期演奏会)。

ピアノの詩人というだけあって、ショパンの作品はピアノが中心にあった。2つのピアノ協奏曲の天才性や人気も、もっぱらピアノ独奏の部分に向けられている感があり、反面オーケストラレーションについてはしばしば批判的的となってきた。

演奏活動1つをとっても、ピアニストとしてもっぱら名を成したショパン(当時は有名な音楽家になるにあたって、ピアノ演奏だけでなく、他の楽器の演奏や指揮もできることが重要だったことを考えると、彼がそれだけで名声を築けたのはむしろ例外的だった)。そしてピアノ作品の作曲に特別な創造性と感情を抱いていたショパンが、それではなぜオーケストラ付きの作品を作ったのか。当時、若いピアニストや作曲家にとっては、ピアノと管弦楽のための曲を作り、それを公の場で広く発信することこそが、広く世の中に自らを知らしめるにあたって、最も効果的だったからである。

ワルシャワの音楽学校で学んでいた1827年、彼が17歳のときに書き上げたのが《ラ・チ・ダレム変奏曲》の通称で知られる「**《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」の主題による変奏曲**」\*1である。モーツァルトのオペラ《ドン・ジョヴァンニ》第1幕第3場の二重唱「お手をどうぞ(ラ・チ・ダレム)」を主題にしている。このアリアは他の作曲家にも愛され、しばしば引用されたほどの名ナンバーだったため、ショパンもそれにあやかっただけである。2年後のウィーンのデビュー・コンサートでは、彼自身のピアノで初演され、ショパンの名をポーランド以外にも広めるきっかけとなった。同い年のシューマンは、この作品を知り感激し、自らの雑誌に「諸君、帽子を脱ぎたまえ！天才だ」と記し絶賛した。

作品は序奏、5つの変奏、そして終曲から成っており、ゆっくりとした出だしの後、ピアニストが名人芸を次々と繰り出すという構成だ。各変奏の間にオーケストラが繰り返しのような相手を挟みながら、独奏者と掛け合う。ほとんどの変奏曲に手の込んだピアノ・パートがあり、第5変奏は非常に劇的でショパンの才能が遺憾なく発揮されている。フィナーレでは元々の主題が、ポーランドを象徴する舞曲「ポラッカ」へと華やかに変身する。

ショパンはオーケストラ付きの作品であろうと、それをピアノ独奏だけで演奏するということがしばしばおこなっていたようだ。『アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ』\*2もその1つで、自身で編曲したピアノ独奏版が残っている。またそうした経緯から、現在ではピアノ独奏で演奏される機会が圧倒的に多い。

元々、ピアノ独奏と管弦楽による編成でポロネーズの部分を書かれたのは、1830年から31年にかけて。折しもショパンが20歳を迎えたばかりの頃だった。一方、ピアノ独奏によるアンダンテの部分は1834年(1835年という説もある)の作品であり、ショパンの円熟期に属する。スピアナートという言葉は、イタリア語の動詞 spianare「滑らかにする」に由来している。

いずれにしてもショパンは、元々存在したポロネーズの前奏部分(というには長大だが)に後から作ったアンダンテを合体させ、アンダンテ・スピアナートに続き、ポロネーズが現れる

2部構成の作品に整えた。ピアノ独奏のみで奏でられる牧歌的なアンダンテは、甘美で波打つように美しい。和音を活かした中間部を挟み、オーケストラは短い橋渡しのなパッセージで登場し、ポロネーズに入る。ポーランド情緒豊かな、文字通り華麗な作品となっている。

独奏ピアノと管弦楽のために書かれたショパンの作品の中で、「協奏曲」と銘打たれたのは、ホ短調の第1番と、本日演奏するヘ短調の第2番の2曲のみとなる。両者ともに作曲家の20歳前後に約半年を隔てて作曲されているが、出版時期の違いから、先に成立したこの「ヘ短調」(1829年成立/1836年出版)が第2番、その後書かれた「ホ短調」(1830年成立/1833年出版)が第1番となっている。

そんな経緯を持つ『ピアノ協奏曲第2番』\*3は、パリ時代に親交の続いたデルフィーン・ポトツカ伯爵夫人に献呈されている。ただし作曲された当初は、ショパンの初恋の相手と伝えられるワルシャワ音楽院声楽科の学生コンスタンツィア・グワドコフスカに献呈されるものであったと伝えられている。いずれにしても、『ピアノ協奏曲第1番』の堅固さとは対照的に、自在にして優美な旋律線と甘く切ない抒情性を全楽章に湛えたこの作品は、青年ショパンのみずみずしい才能を伝えてあまりある。

## 【ピアノ協奏曲第2番】

第1楽章：マエストーソ、ヘ短調、4分の4拍子。古典的な協奏ソナタ形式で書かれているが、再現部で第1主題を中断して第2主題につなぐなど、幾つもの工夫がなされている。

第2楽章：ラルゲット、変イ長調、4分の4拍子。夢想的な導入部に始まるノクターン。中間部では独奏ピアノが切迫した感情を歌う。

第3楽章：アレグロ・ヴィヴァーチェ、ヘ短調、4分の3拍子。ショパン独特のマズルカのリズムを基調としたロンド。途中現れる弦楽のホル・レーニョ奏法(弦を弓の木の部分で叩く)による伴奏はショパンとしては異例なほど新奇なオーケストラの用い方である。ただしペルリオーズの《幻想交響曲》での前衛的な効果とは異なり、田舎風のとどかさずら感じさせる点が、「ピアノの詩人」と呼ばれるショパンのショパンたる所以だろう。

## 楽器編成

- \*1… 独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、ティンパニ1、弦楽5部。
- \*2… ※1+バス・トロンボーン1。
- \*3… ※1+トランペット2、バス・トロンボーン1。



← YouTube チャンネル

【5分でわかる大人のためのオーケストラ入門】

今月のイチオシ

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

お客様へのお願い ●演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。





Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



### 「ピアノ弾き振り物語」

本日の演奏会は、ピアノ独奏者による「弾き振り」、つまりピアニストが独奏パートを奏でながら、オーケストラを指揮するというスタイルがとられる。またこうしたスタイルは、独奏パートもオーケストラ・パートもともに複雑化の一途を遂げ、独奏者がオーケストラの指揮をする余裕のなくなった（逆に専門の指揮者がオーケストラを指揮するようになった）19世紀前半までは、よくある光景だった。

なお当時ピアノ協奏曲の「弾き振り」がおこなわれる際、オーケストラやピアノの舞台配置は、現在と異なる場合が多々あった。本日はおそらく、普段指揮台がある位置にピアノが置かれ、ピアニストが客席正面に背を向けて、あるいはピアノの演奏会でよく見られるように顔や身体の右側を客席に見せながら弾き振りがおこなわれるはずだが…。

では昔はどうだったかといえば、まずピアニストが協奏曲を華々しく披露する会場は、多人数を集められる劇場がほとんどだった（現在のようコンサートホールはまだほとんど存在しなかった）。また劇場には現在のようにオーケストラピットは設けられておらず、オペラや劇を上演する場合、オーケストラは舞台の下で、客席正面に背中を向けて座っていた。逆に指揮者は舞台の真下に立ち、舞台やオーケストラを交互に向きながら指揮をしていた。

となると、ピアノ協奏曲をピアニスト兼指揮者が弾き振りする場合、何が起るのか？ 舞台の真下にピアノを置いていたのでは、ピアニストにとって一大PRとなる協奏曲を上演するにあたって、視覚的にも聴覚的にも効果半減である。というわけで、ピアノは舞台上に置き、ピアニストは舞台の上から、舞台の下に控えているオーケストラを指揮する、という離れ業がおこなわれた場合もあったようだ。

となると、実質的にオーケストラを牽引するのは誰か？ それぞコンサートマスターであって、文字通り第二の指揮者としての役割を果たしていた。またコンサートマスターの存在あってこそ、ピアニストも自由自在にオーケストラとの対話を交わせた。演奏者の配置こそ往年とは異なるものの、今日の演奏会でもそんな音楽家同士のやりとりを、私たちはきっと体験する。



ウィーンにかつて存在したケルトナー門劇場。ツァイチェック画。ショパンはこの劇場で1829年、ウィーンでのデビューコンサートを開催した。

Next YOKOHAMA

## 第397回 横浜定期演奏会

2024年5月18日(土) 17:00  
横浜みなとみらいホール

指揮: 井上道義  
チェロ: 佐藤晴真

16:20 ~  
オーケストラガイド



井上道義



佐藤晴真

ショスタコーヴィチ: チェロ協奏曲第2番 ト短調 op.126

ショスタコーヴィチ: 交響曲第10番 ホ短調 op.93

全席完売

Member's TVU CHANNELでライブ&アーカイブ配信あり

首席指揮者  
カーチューン・ウオン  
演奏会

### 特別演奏会

2024年5月25日(土) 14:00 昭和女子大学 人見記念講堂

### 第404回 名曲コンサート

2024年5月26日(日) 14:00 サントリーホール

ピアノ: 小菅 優

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番      チャイコフスキー: 交響曲第5番

[5/25] S ¥6,000 A ¥4,500 B ¥3,500 Ys (25歳以下) ¥1,500 Gs (65歳以上) ¥3,500

[5/26] S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500  
Gs (65歳以上) ¥5,000

※ Ys (ヤング・シート)、Gs (グランド・シート) は S 席以外からお選びいただけます。

### 第255回 芸術シリーズ

2024年6月2日(日) 14:00 東京芸術劇場

作曲家 坂本龍一 ~その音楽とルーツを今改めて振り返る

箏: 遠藤千晶\*      ピアノ: 中野翔太\*\*

合唱: 東京音楽大学\*\*\*      監修: 小沼純一

ドビュッシー: 《夜想曲》\*\*\*

坂本龍一: 箏とオーケストラのための協奏曲\*

坂本龍一: 映画『ラスト・エンペラー』より「メインテーマ」

武満徹: 組曲《波の盆》より「フィナーレ」

坂本龍一: 地中海のテーマ (1992年バルセロナ五輪開会式音楽)\*\*、\*\*\*

S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000 Gs(65歳以上) ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500



日本フィル横浜定期演奏会50周年  
 (横浜カルチュラル・ワンダーランド)

## 横浜アンサンブル・ワンダーランド Vol.2

～日本フィル・クラリネットセクションによる室内楽～

日本フィル「最高の男4人」が魅せるクラリネット・アンサンブル  
 JPO Quatre Homme plus

昨年大好評だった日本フィルの室内楽シリーズ第2弾。  
 今回は日本フィルの木管セクションを支えるクラリネット4名による  
 スペシャルユニット JPO Quatre Homme plus が横浜初公演！  
 後半にはトークショーでメンバーの魅力も掘り下げます！

2024年6月27日(木) 18:30開演 (18:00開場)

横浜みなとみらいホール 小ホール

好評  
 発売中!

JPO Quatre Homme plus [クラリネット四重奏]

伊藤寛隆(首席奏者) 楠木 慶(副首席奏者) 照沼夢輝 堂面宏起

### 第一部 クラリネット四重奏コンサート(約60分)

グランドマン:クラリネットのためのカプリス

ヘンリー:バードウォッチング

ラヴェル(杉本哲也編曲):クーランの墓

チャイコフスキー(杉本哲也編曲):幻想序曲《ロメオとジュリエット》

### 第二部 ライトトークショー(約30分)

ここでしか聞けないスペシャルトークをたっぷりお届け!

■料金(税込/全席指定)

一般: ¥3,000 会員: ¥2,500\* U18シート: ¥1,000

\*日本フィル各種会員、みなとみらいウェブフレンズ

## 2024/2025 シーズン横浜定期演奏会

横浜みなとみらいホール 17:00 開演

●秋季

第400回 9月21日(土)

指揮:カーチン・ウォン [首席指揮者]

ピアノ:ガルハルト・オピッツ

ブラームス:ピアノ協奏曲第2番

チャイコフスキー:交響曲第4番

[1回券] S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500  
 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,000

第401回 10月5日(土)

指揮:出口 大地 チェロ:鳥羽 咲音\*

ハチャトゥリアン:バレエ音楽《スバルタクス》より  
 「スバルタクスとフリーギアのアダージョ」

カバレフスキー:組曲《道化師》

チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲\*

ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲《展覧会の絵》

[1回券] S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000  
 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000

第402回 11月23日(土・祝)

指揮:ピエタリ・インキネン

ヴァイオリン:神尾 真由子

グランドピアノ:ヴァイオリン協奏曲

R.シュトラウス:アルプス交響曲

[1回券] S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500  
 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,000

第403回 12月21日(土)

指揮:下野 竜也

ソプラノ:富平 安希子 メゾソプラノ:小泉 詠子

テノール:糸賀 修平 バリトン:宮本 益光

合唱:東京音楽大学

ニコライ:歌劇《ウインザーの陽気な女房たち》序曲

ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

[1回券] S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000  
 C席 ¥6,000 P席 合唱団 Ys席 ¥4,000

第404回 1月25日(土)

指揮:藤岡 幸夫 フルート:Cocomi

武満徹:組曲《波の盆》

モーツァルト:フルート協奏曲第2番

ルグラン:交響組曲《シェルブールの雨傘》

[1回券] S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000  
 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000

【年間定期会員券(全10回)】

S席 ¥54,000 A席 ¥42,000 B席 ¥36,000  
 C席 ¥32,000 P席 ¥27,900(全9回)  
 Ys席 ¥15,000

発売日:2024年5月30日(木)

●春季

第405回 3月22日(土)

指揮:小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン:中野 りな

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲

リムスキー=コルサコフ:交響組曲《シェエラザード》

[1回券] S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000  
 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000

第406回 4月19日(土)

指揮・ピアノ:横山 幸雄

ショパン:ポーランドの歌による幻想曲

ショパン:演奏会用ロンド《クラコヴィアク》

ショパン:ピアノ協奏曲第1番

[1回券] S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000  
 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000

第407回 5月31日(土)

指揮:ガボール・タカーチ=ナジ ピアノ:三浦 謙司

シューベルト:交響曲第7番《未完成》

モーツァルト:ピアノ協奏曲第21番

コダーイ:組曲《ハーリ・ヤーノシュ》

[1回券] S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000  
 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000

第408回 6月14日(土)

指揮:小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン:千葉 清加(日本フィル・アシスタント・コンサートマスター)

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番

マーラー:交響曲第1番《巨人》

[1回券] S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500  
 C席 ¥5,500 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,000

第409回 7月5日(土)

指揮:原田 慶太楼 ピアノ:阪田 知樹

ラフマニノフ:ヴァンパイア(管弦楽版)

ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲

ラフマニノフ:交響曲第2番

[1回券] S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000  
 C席 ¥5,000 P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000

【秋季(全5回)】

S席 ¥29,000 A席 ¥23,000 B席 ¥20,000  
 C席 ¥18,000 P席 ¥12,700(全4回)  
 Ys席 ¥9,000

発売日:2024年5月30日(木)

【春季(全5回)】

S席 ¥29,000 A席 ¥23,000 B席 ¥20,000  
 C席 ¥18,000 P席 ¥15,800 Ys席 ¥9,000

発売日:2024年11月27日(水)



■朝日カルチャーセンター横浜教室

レクチャーコンサート『社会文化史から読み解く日本フィル横浜定期 400回記念』

7月15日(月・祝) 14:30~16:00

講師:小宮正安(横浜国立大学教授)、日本フィル弦楽四重奏

弦楽四重奏の演奏を聴きながら、音楽史の中に浮かび上がる日本フィルの横浜定期の歩みとこれからの、作品が生まれた社会文化の視点から読み解きます。 ※有料(詳細はチラシ・HP) 【お申込み・お問合せ】朝日カルチャーセンター横浜教室 TEL 045-453-1122

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54~23:00(第3週、第4週は再放送)。ぜひご覧ください!

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

もうすぐ発売!

5/15 発売!

コバケン・ワールド Vol.37~39 セット券

指揮とお話:小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

S ¥13,900 A ¥10,800 B ¥8,700 P ¥6,500 Gs (65歳以上) ¥9,800

コバケン・ワールド Vol.37

2024年9月29日(日) 14:00

昭和女子大学 人見記念講堂

ヴァイオリン:高木凜々子\*

エルガー:愛の挨拶\*

ベートーヴェン:

交響曲第5番《運命》 他

コバケン・ワールド Vol.38

2025年1月12日(日) 14:00

サントリーホール

ヴァイオリン:田野倉雅秋

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲

ドヴォルジャーク:

交響曲第9番《新世界より》 他

コバケン・ワールド Vol.39

2025年3月23日(日) 14:00

サントリーホール

ピアノ:小林亜矢乃

モーツァルト:

ピアノ協奏曲第20番

リムスキー=コルサコフ:

交響組曲《シェエラザード》

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

●公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送料はお客様にご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。

3月の寄付者 今村滋

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)

FAX: 03-5378-6161 (24時間)

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食:下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/日本料理「大志満」

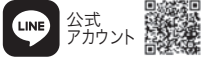
中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。 ※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊暁雄
●桂冠名誉指揮者/小林研一郎
●名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
●名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン
●客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ
●首席指揮者/カーチュン・ウォン
●桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
●フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)/広上淳一

公式X(元Twitter) @Japanphil



- ソロ・コンサートマスター 扇谷泰朋 木野雅之 田野倉雅秋
ソロ・チェロ 門脇大樹 菊地知也
ソロ・トランペット オッタピアーノ・クリストーフォリ
理事(代表理事) 平井俊邦
副理事長(代表理事) 五味康昌
専務理事(代表理事) 福井英次
常務理事(代表理事) 後藤朋俊
名譽顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔
団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 新井豊治 石井啓一郎 伊藤恒男 伊波 睦 後藤 隆 遠藤剛史 大石 修 大川内 弘 寛 美知子 金本順子 蒲谷隆行 川口和宏 菊田秋一 岸良開城 吉川利幸 木村正伸 小林俊夫 小山 清 齋藤千種 佐々木裕司 佐藤玲子 菅原 光 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 田沢 烈 立川和男 堂阪俊子 富樫尚代 豊田尚生 中川二郎 永田健一 中務孝彦 奈切敏郎 橋本 洋 畑井紀代子 平賀法子 福島喜裕 松本克己 松本伸二 三本克郎 宮武良平 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 渡辺哲雄